行ってきた、見てきた、先進地

総務常任委員会

羽村市>>議会総務常任委員会

(2/4)

羽村市の「開かれた議会」への取り組みは…

羽村市議会では、昭和51年から委員会研修旅行の市民報告会を行なうなど、先進的な取り組みを行なってきましたが、平成15年の議会改選後、議員主導型の議会改革を目指して、議会改革検討委員会を組織し、数々の議会改革に着手してきました。

■同委員会の概要

平成16年…地方分権にふさわしい、より開かれた議会運営の実現に向け、8名の委員からなる第1次議会改革検討委員会を設置。延べ13回の会議を経て議長に報告。

平成18年…第2次検討委員会を設置。延べ12回の会議を経て議長に報告。

■議会改革の状況

委員会報告をもとに検討を行ない、実施に着手。

- 議員定数の見直し
- 一般質問に一問一答式を採用
- 議会だよりの充実
- 議会用語の見直し
- 政務調査費の見直し
- 傍聴規則の見直し
- 危機管理への対応

等、多くの改革を実施し、現在もさらなる改革の実現に向け、取り組みを行っているとのことです。

文教厚生常任委員会

東松山市>>子育て支援センター

(2/4)

「子育て支援」の中心施設 推進委員会の活動もポイントか

昨年に引き続いての同センターの視察では、整備に至る経緯や整備推進委員会の活動等、ソフト面の説明を受けてきました。

■設立は市長の強い意向がきっかけ

保育園併設型から生じる面積的な制限への対応を含め、市長が先進地を視察。単独型施設の実現に強い意向を示したことが、建設のきっかけになったとのことでした。

■整備推進委員会は15名

公募による一般市民6名、知識経験者である大学教授1名、育児サークル代表者4名、母子愛育会2名、主任児童委員2名の、計15名で組織。ボランティアとして無報酬で参加。

委員会では、センターの施設及び設備、業務等に関する審議を行ない、その決定事項は施設の実施計画に反映されました。

委員会メンバーは、施設完成後 現在に至るまで、ボランティアの運営委員会として助言を続けているとのことでした。

産業建設常任委員会

印西市>>千葉県立北総花の丘公園

千葉市>>中田スポーツセンター

(2/7～2/8)

遊ぶだけじゃない、「学ぶ」都市公園

北総花の丘公園は、ニュータウン周辺の総合公園で、特徴は「集い、遊ぶ機能」のほかに、「学ぶ」ことをプラスした文化とコミュニティーをテーマとして50ヘクタールの広い自然の地形を生かし、樹林を残した都市公園であること。さらには、災害時の広域避難場所にもなっています。

また、この公園の維持管理は、財団法人千葉県まちづくり公社が指定管理者として行なっています。施設は花と緑の文化館（本館・講習棟）、園地（芝生広場・修景池）、駐車場となっています。

処分場跡地のスポーツセンター

千葉市の中田スポーツセンターは、一般廃棄物最終処分場埋立跡地を、市が地元の要望を取り入れて整備したとのことです。施設は、管理棟・更衣室・球技場・多目的広場・グラウンドゴルフ場・野球場・庭球場・芝生広場・運動広場・倉庫・トイレ・駐車場が整備されています。

今後は市民農園とバラ園を整備していく予定だということでした。

なお、中田スポーツセンターの視察は、三ヶ山地域開発調査特別委員会と合同で行ないました。

三ヶ山地域開発調査特別委員会

笠間市>>エコフロンティアかさま

千葉市>> 中田スポーツセンター

(2/7～2/8)

廃棄物の処理に求められる 安全性は国の基準以上！

茨城県における総合的な廃棄物対策の一環として、循環型社会の形成に向けた適正処理の推進と廃棄物最終処分場の安定的な確保、産業活動の健全な発展と環境保全を目的に建設された施設です。

廃棄物を通して広く環境全般を学ぶ環境学習施設のほかに、溶融処理施設はダイオキシンの排出量を低く抑え、高効率発電によるサーマルリサイクルや有価金属の回収も行なっています。処分場は国の構造基準を大きく上回る多重遮水構造・漏水検知システムが設置してあります。

施設の概要

所在地…茨城県笠間市福田165番地
用地面積…28・6ヘクタール
埋立面積…9・8ヘクタール
浸出水処理能力…1日当たり400立方メートル
焼却、溶融施設の処理能力…1日当たり145トン
埋立対象廃棄物…茨城県内の産業廃棄物、笠間市の一般廃棄物、県内市町村の焼却灰、不燃残渣、溶融飛灰処理物

羽村市・東松山市・印西市・千葉市・笠間市

委員会

SOUMU・BUNKYOU-KOUSEI・SANGYOU-KENSETSU・MIKAYAMA Report